



2023 春闘 4 グループ会社の労働条件改善は待ったなし!

グループ全体の処遇改善を目指そう!

JR東日本は、グループ経営ビジョン『変革 2027』を策定し、「仕事を通じた達成感・充足感」及び「労働条件の向上」等を通じ、当社グループの社員・家族の幸福を実現すると謳っています。

しかし、グループ会社社員から聞こえてくるのは、「社員の話を聞いてくれない」「何年たっても手取りが増えず辞めたい」など、働きがいとは反対の声ばかりとなっています。

- 1人で数駅を掃除、丁寧にやりたくても「超勤はやるな!」と厳しく言われ、多少汚れていても仕方ないとなっている。
- 作業時間前に働きだす。そうしないと終わらない。掃除の合間、道具置き場や物置で休憩する。1日で4万歩は歩く。エルダー出向3ヶ月で12キロ痩せた!(清掃会社)



- 組織再編に伴って事業用の物品輸送契約の5支社統一化で「年間約1900万円のコストダウン実現」と掲載されていた。これで「ドライバー」確保の問題が解消されるわけではないし、賃上げや拘束時間の短縮につながるわけでもない。社員の声を聞いてほしいよ!(物流会社)

これでは **仕事を通じた「充実感・達成感」**は得られません!

充実感・達成感が得られる **仕事のやりがい**の創出には **労働条件改善が必須!**

国労は春闘で グループ会社の労働条件改善を求めます!